医療用具承認番号　08B外第0036号

器具器械　18　血圧検査又は脈波検査用器具

電子非観血血圧計

携帯用血圧モニタシステム

禁忌・禁止

併用医療用具［相互作用の項参照］

/ 高圧酸素治療装置内での使用
/ 可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用
/ 磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）

形状・構造等

本装置は、24時間または48時間継続して血圧および脈拍数を測定する小型軽量の携帯型非観血血圧モニタ（Ambulatory Blood Pressure：ABP）シリーズです。



写真は90217です。

構　成

名　　称		数量
血圧モニタ（90207） 血圧モニタ（90217）　から選択		1
カフ	子供用　　　（腕外周：13～20cm）	選択
	成人用　小　（腕外周：17～26cm）	選択
	成人用　標準（腕外周：24～32cm）	1
	成人用　大　（腕外周：32～42cm）	選択
	成人用　特大（腕外周：38～50cm）	選択
ローカルリポートジェネレータ（プリンタ）		1
ABPインタフェース（ソフトウェア）		1

付属品の詳細は、取扱説明書を参照してください。
※本体および付属品は、単体で販売する場合があります。

性能・使用目的

使用目的

24時間または48時間継続して血圧および脈拍数を測定する小型軽量の携帯型非観血血圧計です。

性　能

	90207	90217
定格電圧	6.0VDC 1.5Vアルカリ電池：4本	4.5VDC 1.5Vアルカリ電池：3本
血圧測定方式	オシロメトリック法	
測定範囲 / 収縮期血圧 / 拡張期血圧 / 平均動脈圧 / 脈拍数	 70～285mmHg 40～150mmHg 60～240mmHg 40～180bpm	 60～260mmHg 30～200mmHg 40～230mmHg 40～180bpm
自動測定間隔	6～120分	
最大カフ圧	300mmHg	285mmHg
測定および記憶数	240回（標準成人）	

操作方法または使用方法等（用法・用量を含む）

詳細は別途用意されている取扱説明書 90207、90217を参照してください。

検査の準備

1. **電池を挿入する**
   電池収容部に、単三アルカリ乾電池をセットします。
2. **装置を初期化する**
   初期化はローカルリポートジェネレータ 90239を接続して行います。詳細は別途用意されているローカルリポートジェネレータの取扱説明書をご覧ください。
   ［注］正確に記録するために、使用前には、必ず初期化を行ってください。初期化を行わないと、前回の設定および記録データが消去されず、二重記録になります。
3. **装置の電源をオンにする**
   オンにした時刻から計測が開始されます。
4. **装置をポウチに入れ、被検者に携帯させる**
   ストラップ、ベルトを使用して、カフを装着する腕の反対側に下げます。
5. **カフを被検者に装着する**
   カフは利き腕ではない腕の上腕に、心臓と同じ高さで確実に装着します。
   ［注］カフのサイズは上腕周径に適したものを使用してください。サイズが合わない場合、測定値に誤差を生じることがあります。
6. **カフを装置に接続する**
   ホースを肩に掛けるようにした後、装置に接続します。
   ［注］ホースをはさんだり、鋭角に曲げたりしないでください。

（「操作方法または使用方法等」は次ページに続きます。）

90207、90217の取扱説明書を必ずご参照ください。

検査の開始

1. **手動で計測し、動作状態を確認する**
   START/STOPボタンを押し続け、カウントダウンしたら離します。加圧、計測、血圧値を表示するか確認します。
   ［注］検査開始前に、手動で装置が正しく動作することを確認してください。カフの不具合などが確認でき、検査後のトラブルが避けられます。
2. **被検者に検査の説明をする**
   被検者に測定中はできるだけ測定している上腕をダラッとさげ、あまり動かさないよう指導します。
   また日誌の書き方を説明します。

検査の終了

1. **記録が終了したら、電源スイッチをオフにし、電池を取り出す**
2. **カフを取り外す**
3. **レポート作成する**
   レポート作成はローカルリポートジェネレータ 90239に接続して行います。詳細は別途用意されているローカルリポートジェネレータの取扱説明書をご覧ください。

使用上の注意

使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

／出血傾向あるいは凝固抗進（状態）の被検者［カフで腕を締め付けた後に点状の出血や血栓による循環障害を生じることがあります。］

重要な基本的注意

／検査前には、取扱説明書に記載されている注意項目を参照して、被検者に検査中の注意事項を十分に説明してください。被検者の行動によっては、正しいデータの保存が行えず、検査のやり直しになることがあります。

／使用前に、必ず装置の初期化を行ってください。初期化を行わないと、前回の設定および記録データが消去されず、二重記録になり、正確な検査結果を得られません。

／カフのサイズは上腕周径に適したものを使用してください。サイズが合わない場合、測定値に誤差を生じることがあります。

／検査開始前に、手動で装置が正しく動作することを確認してください。カフの不具合などが確認でき、検査後のトラブルが避けられます。

／血圧を確実に記録するため、装置の校正を1ヶ月に1回の割合で必ず行ってください。また保守も定期的に行ってください。［本装置は1回の使用が24時間あるいは48時間と連続的であり、温度の変化や振動など、きわめて厳しい状況で使用されるため。］

電池について

／電池は必ず、新品の単三アルカリ乾電池を使用してください。指定外の電池または一度使用した電池では、データを完全に記録できないことがあります。

／電池は記録する直前に挿入してください。電池を挿入した状態で長時間放置しないでください。［電池を挿入すると、内部回路が動作を開始するため］

相互作用（併用禁忌・禁止：併用しないこと）

医療用具の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高圧酸素治療装置（一人用／多人数用）	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある
可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある
磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）	MRI検査を行うときは、本装置およびカフを患者から取り外すこと	誘導起電力により局部的な発熱で患者が熱傷を負うことがある 詳細は、MRI装置の取扱説明書の指示に従うこと

相互作用（併用注意：併用に注意すること）

電気手術器（電気メス）

／電気メスと併用する場合は、本装置を近づけないようにしてください。またあらかじめ誤動作の有無を確認してから使用してください。［電気メスが発生する高周波エネルギによって、装置が誤動作することがあります。］

周辺機器

／本装置に各種の周辺機器を接続する場合は、必ず当社指定の装置を定められた方法により接続して使用してください。［指定外の機器を接続すると、漏れ電流により患者が電撃を受けることがあります。］

作動・動作原理

本装置は非観血血圧測定の方法としてオシロメトリック法を用いています。上腕にカフを装着、加圧し、動脈を圧迫した後、徐々に減圧する過程で血圧を測定する方法です。
心臓の拍動に伴う血管壁の振動は、カフの圧力変動として反映されます。カフ圧を徐々に減じると圧脈波が固有の変化を示します。この圧脈波変化を解析して、最高、平均、最低血圧値を求めています。
本装置は血圧の自動測定間隔を設定することにより繰り返して測定ができます。これらの血圧データは本体に保存され、24時間または48時間経過後、レポートジェネレータでレポートが作成されます。

貯蔵・保管方法および使用期間等

使用環境条件

温度範囲　5～40℃
湿度範囲　10～95%（結露なきこと）

保存環境条件

温度範囲　－34～65℃
湿度範囲　10～95%（結露なきこと）

保守・点検に係る事項

装置を正しく使用するために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。

定期交換部品

／内蔵リチウム電池　3年に1回（90207のみ）

項　目	内　容
外　観	各部の汚れ、錆・傷の有無
	開閉部・スイッチ機構のガタつきの有無
入力部	コネクタの破損の有無
	カフの断線・破損の有無
表示部	表示内容の確認
電源部	乾電池の電圧の確認
その他	ポウチ等の固定具の破損の有無

包装単位

1台単位で梱包

製造元　スペースラブ　メディカル社（アメリカ合衆国）
国内管理人　医療産業株式会社
東京都文京区本郷3-42-5
輸入販売元　日本光電　日本光電工業株式会社
東京都新宿区西落合1-31-4　〒161-8560
☎(03)5996-8000(代表)　Fax(03)5996-8091